



応援小旗作り



つやまリンリン駅伝

第16回 津山国際交流車いす駅伝競走大会

11月23日(祝) 午前10時 柳通り(沼)スタート 5区間31.5km

天候
晴れ、気温8.1度、風速2.0m/s

参加チーム
外国5チーム(大韓民国・中華人民共和国・フィリピン共和国・タイ王国・マレーシア)、国内18チーム(15府県)

順位
優勝:大分県チーム(1時間9分40秒)、2位:福岡SPEED(福岡県)、3位:大阪ランナーズクラブA(大阪府)、郷土勢:岡山6位、旭川荘20位、津山21位

参加人数
選手・監督:216人、ボランティア:延べ9,000人、沿道の声援:3万7,000人



倉本正博さん(津山チーム)

日ごろから、体力づくりになるのでスポーツを趣味としています。この大会には昨年も参加し、2年連続で1区を走りました。この1区は距離も長く、走り切るのはいへんです。沿道のみなさんの応援が力になり、苦しいときでもがんばれました。



ヘレナ・D・クルーズさん(写真右)
(フィリピン共和国・介助者)
畑 千賀子さん(通訳)

初めて津山に来ました。津山はとてもきれいで、みんなが優しく協力的なので、障害のある人も活動しやすいですね。



中嶋賢治さん(北園町)

ボランティアに初めて参加し、選手係をしました。選手が今何を望んでいるのかわからないこともありましたが、しっかりとコミュニケーションを取ってレースに集中してもらえるように努めました。今後もいろんなことに参加したいです。



上山秋羽さん(東小2年)

車いす駅伝を見るのは今回で2回目。障害のある人が一生懸命がんばっている姿を見て、私も感動しました。今日はタイ王国を応援しました。タイ語の“スーシュー”(がんばれ)はとても発音がしやすいですね。

第16回 津山国際交流車いす駅伝競走大会



タイ王国の学校訪問(東小)



応援のぼり旗の作成



北陵中でのだんご作り

